

1 未来像

あい甲賀 いつもの暮らしに「しあわせ」を感じるまち

12年後のまちや人の姿

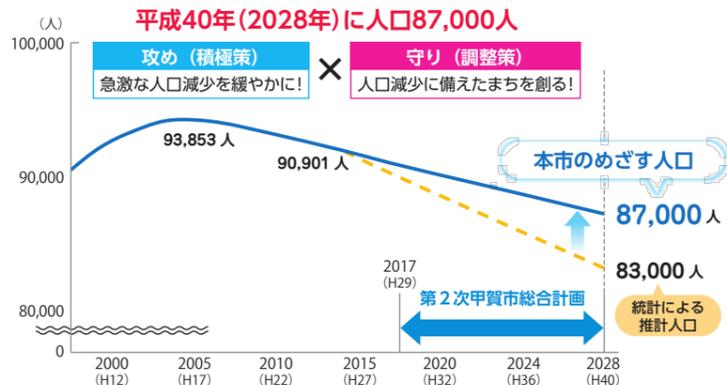
- 誰もが生きがいをもって、健康で安心して暮らし、もし誰かが不幸に苦しむことがあれば、まわりから温かい手が差し伸べられます。
- 誰かが新たなチャレンジに挑むときには、力強い応援が寄せられます。
- 「住み心地」や「稼ぐ力」を高め、市民であることに「幸福」や「誇り」を感じています。
- 甲賀市を「選ぶ」人や企業が世界中から集まり、若者が住み続けたいと思い、新しい家族が生まれ、子どもの声があふれています。

人口フレーム

平成40年(2028年)に人口87,000人

人口減少と少子高齢化がこれまでと同様に推移した場合、平成40年(2028年)の人口は83,000人と推計されています。まずは、転出傾向にある社会動態を速やかに転入と均衡させることをめざします。

人口減少を止める！



都市構造

暮らしをつなぎ、地域を未来につなぐ
—多様性を活かしたネットワークづくり—

地域ならではの歴史や文化、住民の「多様な個性」を活かすため、都市構造の再構築を図ります。

- ①土地利用の再編(見直し)・調和のとれたまちづくり
- ②日常生活と都市機能を支える地域拠点づくり
- ③暮らしを支える交通ネットワークの確保

甲賀市はセカンドステージへ！

第2次 甲賀市総合計画 決まる

～オール甲賀で未来につなぐ～



甲賀市誕生直後に策定された甲賀市総合計画は、平成28年度で計画期間の終期を迎えました。同計画では、旧5町の一体感の醸成などへの取り組みを始め、合併直後から、本市の基盤構築のため、各種の事業を展開してきました。市では、平成27年度から新たなまちづくりの目標となる第2次甲賀市総合計画の策定に着手し、このほど市議会で議決され、平成40年度までの本市の羅針盤となる第2次総合計画が決定しました。これまでにない多くの市民の皆さんからのご意見をお伺いしながら計画を策定し、今、オール甲賀によるまちづくりに向けて甲賀市のセカンドステージが動き出しました。

総合計画の構成



まちづくりの基本理念や本市がめざす未来の姿などをまとめたもの(12年間)

基本構想実現のための主な施策をまとめたもの(前期・中期・後期として策定。各4年間)

基本計画推進のため、実施予定の主な事業をまとめたもの(前期・中期・後期として策定。各4年間)

総合計画はまちづくりを総合的に計画的に進めていくための、また、地域経営のための最上位の計画です。市では平成19年に最初の総合計画を策定し、今回が第2次となります。

第2次甲賀市総合計画とは

2 地域経営と協働

持続可能な地域経営

多様な主体による地域づくりをめざし、自主財源の確保や規制緩和に取り組むなど、地方分権や地域内分権に対応した自立的な経営を確立します。

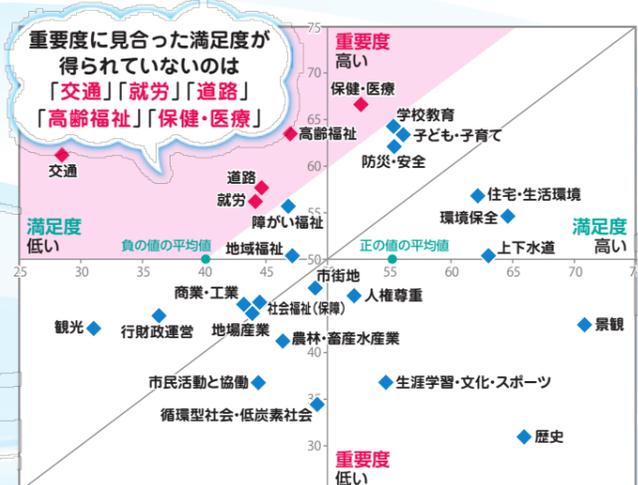
対話による協働の推進

地域づくりのあらゆる場面で、市民、企業、事業所、議会および行政が、連携、協力する「対話による協働」を推進し、チャレンジする市民の「行動力」を応援します。

策定過程で、市民意識調査を行いました

調査結果によるまちづくりの重要度と満足度を踏まえ、計画を策定しました。

市民意識調査の結果(まちづくりの重要度と満足度)



意見交換会▲

市では、市民、議会、市行政が連携、協力してまちづくりを進めていくために「まちづくり基本条例」を制定しています。第2次甲賀市総合計画はこの条例に基づき初めて計画として、市民等による総合計画審議会を中心に、自治振興会、区・自治会、子ども議会OB、市民意識調査など、多層・多層の市民の皆さんに広く意見をいただきながら、策定を進めてきました。

甲賀市まちづくり基本条例に基づく総合計画